子ども達が様々な言語と触れ合う機会を創出せよ

都民ファーストの会中野区議団　内野　大三郎

国際交流事業として、ウェリントンの中学生が中野中を訪れる。今の子ども達は、小学生から英語の体験授業をしており、ネイティブスピーカーとの交流に抵抗はないと思うが、戸惑いはあると考える。区内小中学生が日常的かつ気軽に、ネイティブスピーカーと交流する機会を増やしては。

区長　ＮＰＯ等の関係団体と協力し、学校以外の場での機会の創出に努めたい。

交通安全対策を推進せよ

中野区交通安全対策協議会の理念や目的はとても良いと感じる。更に活性化させるべきだと考えるが、現状は。

区長　会議内容を見直し、交通安全の取り組み状況等の事前調査を実施した結果、委員提案で交通環境の改善事例が生まれ、活性化に繋がった。

ヘルメット購入助成を問う

①予定数量と現在の販売実績は。②今後の対策は。

区長　①予定数量は３０００個で、９月４日現在の実績は５１５個である。②関係機関と連携し、交通安全運動や自転車安全利用講習会等を通じ、利用促進を図りたい。

電動キックボード等への交通対策を講じよ

立憲・国民・ネット・無所属議員団　山本　たかし

①電動キックボードが街中に増える中、安全な交通環境を取り戻すため、どう取り組んでいくのか。②期間を定めた集中的な交通意識の機運醸成が必要ではないか。

区長　①今後、様々な機会をとらえ、交通安全の啓発に努めていきたい。②若い世代に対して効果的に啓発・周知できるよう、検討したい。

不登校対策について問う

①以前提案した不登校特例校について、研究していくとの答弁だったが、進展は。②現在、フリースステップルームに通うことができない小学１・２年生に対し、フリースステップルームや学童などを活用し、居場所としては。③小中学校に区独自のスクールカウンセラーを配置しては。④区で認定したフリースクールに通う児童・生徒の家庭に対し、月会費を補助すべきでは。

教育長　①検討開始に向けて準備を行っていく。②受入場所や受入方法については、今後検討していく。③更なる配置が必要であると認識している。④補助は考えていないが、東京都の補助について周知を図っていく。

中野区役所新庁舎整備を問う

自由民主党議員団　大内　しんご

①新庁舎にはイベントスペース、２つの区民利用会議室、多目的スペースが設置されるが、区民利用の開始時期の検討状況は。②イベントスペースと食堂を一体的に使用すると、１５０人程度のスペースが確保できる。活用方法、営業時間などの検討は。③建設費、什器類備品費、引っ越し経費などの総事業費は。④落成式や区民見学会の検討状況は。⑤温度調整に優れた珪藻土の活用などの検討状況は。

区長　①区民や団体の一般利用は令和６年７月を想定している。②契約優先交渉権者と検討、調整していく。③庁舎建設関係費約２３０億円、什器備品約21億円、移転費、別途工事費等約28億円の合計約２７９億円である。④落成式を４月19日、区民見学会を４月19日と20日に実施予定である。⑤多目的スペースの壁に珪藻土を使用している。

若宮の防災まちづくりを問う

①若宮地区の防災まちづくりの検討状況は。②旧洗心寮跡地活用の検討状況は。

区長　①若宮地区防災まちづくり協議会の意見を踏まえ、地区計画策定に向けた検討を進めている。②令和６年度をめどに、地域の課題やニーズを踏まえ検討する。

区内の西武新宿線５駅にホームドアを設置せよ

ホームドアの設置を強く要望するべきではないか。

区長　鉄道事業者と設置による転落防止対策の考え方を共有しており、引き続き利用者の安全確保を求めていく。

切れ目のない子育て支援の更なる充実を

公明党議員団　甲田　ゆり子

①国が令和６年より自治体に求めている、包括的な子育て支援体制構築のための「こども家庭センター」設置とサポートプラン作成を、どう考えているか。②児童館政策の考えを改めたなら、中高生強化型の児童館についても、中高生の居場所機能のコンセプトを打ち出し、示すべきでは。③里親家庭では、高校・大学進学の際の入学金や授業料を立て替えている。里親の負担軽減のため、改善すべきでは。

区長　①すこやか福祉センターをこども家庭センターとして位置づける考えであり、サポートプラン作成のため、現行業務とのすり合わせや実施体制の確保などを検討している。②中高生世代の意見を踏まえ、中高生機能強化型児童館の運営内容等を明らかにしていく。③都区間で情報共有し、必要に応じ、国への申し入れ等についても検討する。

地域の防災力向上を図れ

①定期的な開催等ができていない避難所運営会議には、より厚い支援をするべきでは。②他の防災組織での好事例を情報共有するなど、防災会のニーズを把握し、取り組みが促進されるような支援策を検討するべきではないか。

区長　①積極的に支援していく。②地域防災住民組織連絡会議で好事例等を発表してもらい、防災会の間で情報共有できる機会を設けていく。

認知症施策を問う

①本年６月に成立した認知症基本法の目的と理念に基づき、区市町村の努力義務とされている認知症基本計画を策定すべきでは。②判断能力のある間に、複雑な問題に対応してくれる伴走者や選択肢を示すコーディネーターが必要である。早い段階からの相談支援として、伴走支援者の充実を図る必要があるのでは。

区長　①今年度策定予定の健康福祉総合推進計画の中で、個別計画の一つとして位置づけることを検討している。②専門的な権利擁護機関との連携を強化すると共に、人材育成を行っていく。

住民に配慮した大和町中央通りの拡幅工事を

①郵便局前交差点の工事について、歩行者と自転車が安全に通行できる空間を確保しては。②長期の工事において、道路拡幅用地を活用し、歩行空間や荷捌き車両等の一時駐停車空間を確保してはどうか。

区長　①地域住民の安心安全を確保しながら施行する。②道路拡幅用地を活用し、安全な自転車及び歩行者の通行に必要となる空間の確保に努めると、都から聞いている。

生活再建を視野に入れた債権管理を

日本共産党議員団　武田　やよい

長引くコロナ禍や物価高騰、厚生労働省の調査においても「格差が広がっている」と報告されている中、生活再建を視野に入れた対応は待ったなしである。①債権管理において、生活再建の視点が大切だと思うが、区はどのように考えているのか。②他自治体では、滞納を一つのＳＯＳと捉え、その背景にある世帯の困難に着目して対応する施策を実施している。相談先が分からず悩んでいる世帯を、制度のはざまに陥らせず、積極的に支援するためには、アウトリーチチームの活動が有効だと考える。アウトリーチチームが活動するための滞納情報の連携について、区の考えは。

区長　①納付相談の際、適切に生活相談窓口や関係機関に繋げる仕組みづくりについて、検討している。②滞納しているケースの場合、債権管理や生活再建の部署に繋ぐなど、関係部署が連携し支援に取り組んでいる。

区民生活を守る介護保険料の設定を

第９期の保険料設定に当たり、積極的な基金取り崩しなどによる保険料の減額、または、据え置きとすべきでは。

区長　令和６年度から始まる次期の計画期間における介護給付費等の推計に基づき、適切に設定したいと考えている。

東中野駅東口周辺まちづくりについて問う

ハードとソフト両面でまちづくりとにぎわい創出を進めていくことが必要だと考える。区の関連部署と地域の方々が一堂に会し、踏み込んだ議論ができる場を設定できないか。

区長　東中野駅及び駅周辺のバリアフリー化に加え、商店街のにぎわいや活性化の視点が不可欠と考えている。ハードとソフト両面で関係部署が密に連携して、地域の意向把握と協議に十分努めながら検討を進めていきたい。

新サンプラザシティ内に中野の逸品フードコートを

都民ファーストの会中野区議団　大沢　ひろゆき

個店支援として、新サンプラザシティ内に「中野の逸品フードコート」を展開しては。

区長　施設計画の検討と並行して、施行予定者に必要な要望や調整を行っていく。

区立小学校保護者とのコミュニケーションを問う

全校で機材や教材を導入する際には、保護者とのコミュニケーションを図るべきでは。

教育長　保護者への情報提供は、子どもたちが使用する教材が理解されるよう工夫し、学校を通じて行っていく。

脱炭素社会の実現を見据えたまちづくりを問う

「環境形成型まちづくり」の進捗状況と今後の進め方は。

区長　来年度に作成する脱炭素ロードマップで、区の方向性を示し、具体的な施策として各計画に反映していく。

業務のシステム化を問う

システム化が必要な業務を洗い出す仕組みが必要では。

区長　研修により職員のＩＣＴ活用能力の向上を図るとともに、ＩＣＴ高度専門人材の活用やＤＸリーダーの効果的な配置を進める。